



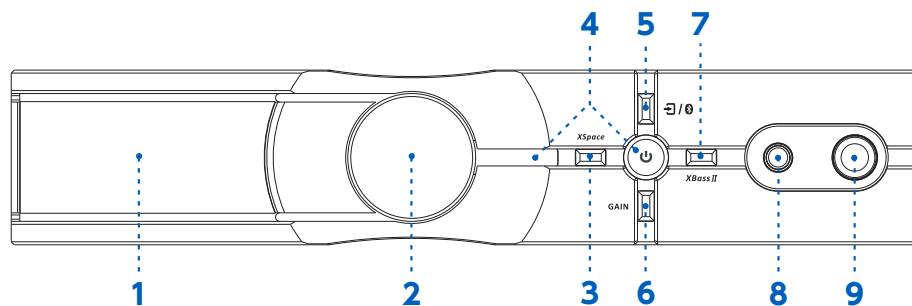
NEO iDSD 2

ユーザーマニュアル

この度はNEOシリーズのiDSDをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。NEO iDSD 2は、バランスUSBおよびBluetooth対応のウルトラレゾDAC+ヘッドホンアンプです。

特徴

- 多目的なオーディオハブ：DAC、プリアンプ、ヘッドホンアンプ
- ウルトラレゾデジタルオーディオ - 32-bit/784kHz PCM、DSD512、フルMQAデコード
- デュアルコアDAC設計により、トゥルーネイティブDSDとPCMを実現
- 高度なジッター低減 - GMTフェムト精度クロックとスマートストレージキャッシュ
- ユーザーが選択可能な4種類のデジタルフィルター - ソースに合わせてサウンドを微調整
- 最先端のHD Bluetooth 5.4 - ソース・デバイスを問わず、完全に最適化されたパフォーマンス
- あらゆるBluetoothフォーマットに対応:aptX Lossless、aptX Adaptive、LDAC、LHDC/HWAなど
- 強化されたPureWaveフルバランス・デュアルモノ回路設計が超低歪みを実現
- 卓越したパワーが最もタフなヘッドホン負荷をドライブ（初代NEO iDSDの5倍のパワー）
- XSpaceとXBass II - サウンドステージと周波数特性をヘッドホンに合わせて調整可能
- iPower 2付属 - アクティブノイズキャンセリング機能付きオーディオマニア向けAC/DC電源
- 水平または垂直に設置 - 2インチのカラーディスプレイは向きに合わせて回転します。

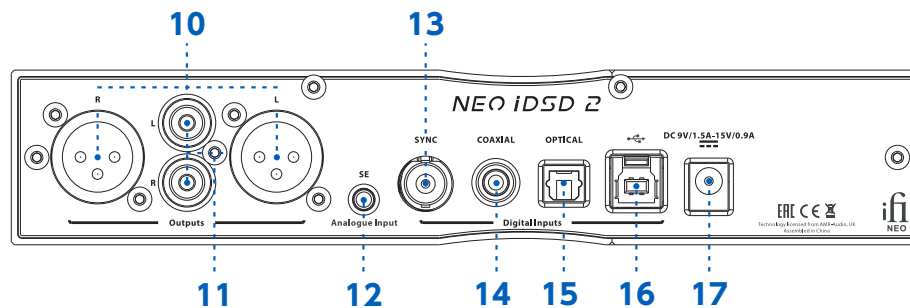


1. TFTディスプレイ
2. マルチファンクションダイヤル
3. XSpace Matrixのオン/オフボタン
4. 電源オン/オフと明るさ
5. 入力セレクター/Bluetoothペアリングボタン

P.4
P.4-7
P.7
P.8
P.9

6. ゲイン選択ボタン
7. XBass II選択ボタン
8. バランス4.4mmヘッドホン出力
9. シングルエンド6.3mm ヘッドホン出力

P.9
P.10
P.10
P.10



10. バランスXLRアナログ出力

P.11

11. シングルエンドRCAアナログ出力

P.11

12. シングルエンド3.5mmアナログ入力

P.11

13. 外部クロック入力

P.11

14. 同軸デジタル入力

P.11

15. 光デジタル入力

P.11

16. USBオーディオ入力

P.11

17. DC電源接続端子

P.12

1. TFTディスプレイ

TFTディスプレイには、現在の入力チャンネル、ゲイン、XBass、XSpace、フォーマット、サンプルレート、電源モードが表示されます。

※TFTスクリーンは、NEO iDSD 2を横向きに設置した場合は左側に、縦向きに設置した場合は上部に表示されます。

2. マルチファンクションダイヤル

操作

- アナログボリューム(回す)
- ミュート(短押し)
- メニュー設定(長押し3秒)

アナログボリューム

ダイヤルを回して音量を調節します。NEO iDSD 2のアナログボリュームは、どんなデジタルボリュームよりも優れています。

ミュート

ダイヤルを押すとミュートになります。ミュートを解除するには、もう一度ダイヤルを押すか、回してください。

メニュー設定(3秒長押し)

コントロール

- デジタルフィルター
- ゲイン
- ボリューム同期
- BTボイスプロンプト
- 外部クロック同期
- ライン出力音量
- 工場出荷時リセット
- 情報

※回転させて機能を選択し、短押しして選択を確定またはオン/オフの切り替えを行ってください。10秒以内に操作がない場合、ディスプレイはホーム画面に戻ります。

1) デジタルフィルター

以下の4種類のデジタルフィルターが使用可能です。

BP	ビットパーフェクト：デジタルフィルタリングなし、プリ／ポストリリングなし。
STD	スタンダード：控えめなフィルタリング、控えめなプリリリングとポストリリング
MIN	最小位相：スローロールオフ、最小プリリリング、最小ポストリリング
GTO	Gibbs Transient-Optimised：352.8/384kHzにアップサンプリング、最小フィルタリング、プリリリングなし、ポストリリング最小

※GTOフィルターが選択されている場合、ディスプレイはサンプルレートを352.8kHzまたは384kHzと表示し、このフィルターのアップサンプリング動作を示します。

II) ゲイン

以下の4つのゲインモードに切り替え可能です。(詳細は項目6参照)



iEMatch

>



ノーマル

>



ターボ

>



ニトロ

III) ボリューム同期

ボリューム同期のオン/オフを切り替えます。デフォルトではオフになっています。

IV) BTボイスプロンプト

Bluetooth音声アナウンスのオン/オフを切り替えます。デフォルトではオフになっています。

V) 外部クロック同期

10MHz外部クロック入力のオン/オフを切り替えます。デフォルトではオフになっています。

オンに設定すると、10MHzクロックが検出されない場合、または外部クロック信号にエラーがある場合、ディスプレイにエラーが表示され、NEO iDSD 2は自動的に内部クロックに切り替わります。

VI) ライン出力音量

ライン出力音量のオン/オフを切り替えます。デフォルトではオフになっています。

このモードは、NEO iDSD 2のアナログライン出力部のボリュームを使用するかどうかを決定します。

VII) 工場出荷時リセット

「Apply」を選択し、工場出荷時の状態へのリセットを実行します。iFiロゴが画面に表示され、操作が成功するとデバイスが再起動します。

※工場出荷時リセットにより、保存されたBluetoothペアリングはすべて削除され、デジタルフィルタリングはデフォルトでBPになり、Bluetooth音声アナウンスはオンになり、デフォルトの画面輝度は高くなり、デフォルトの入力チャンネルはUSBになり、デフォルトの音量は68dBになり、デフォルトのゲインは0dBになり、デフォルトのXBassとXSpaceはオフになります。

VIII) 情報

デバイス名と現在のファームウェアバージョンを表示します。

3. XSpace Matrixのオン/オフボタン

XSpace Matrixオン/オフは、ホログラフィックな音場を再現します。

ヘッドホンをスピーカーで聴いているかのように聴くために設計された、純粋なアナログ信号処理回路です。これは、リスニング時に気になる「脳内定位」感覚に対処するためのものです。

4. 電源オン/オフと明るさ

電源オン/オフ

電源スイッチを長押しして電源をオン/オフします。

画面の明るさ(短押し)

- ✱ **High** ディスプレイの明るさは常に「高」のままです。
- ✱ **Med** ディスプレイの明るさは常に「中」のままです。
- ✱ **Low** ディスプレイの明るさは常に「低」のままです。
- ☼ **Off** スリープモードです。10秒以内に何も操作しないと、ディスプレイの電源が切れます。

5. 入力セレクトター/Bluetoothペアリングボタン

以下の入力を切り替えます。



USB Bluetooth 同軸デジタル 光デジタル ライン(3.5mm) オート

※オーディオソースに応じて入力チャンネルを選択してください。例えば、USB入力を使用する場合、入力チャンネルを「USB」に切り替える必要があります。

※Autoモードを選択すると、入力信号を検出し、入力チャンネルが自動的に切り替わります。

NEO iDSD 2は、aptX Lossless、aptX Adaptive、aptX、LDAC、LHDC/HWA、AAC、SBC経由でBluetooth信号を受信します。

Bluetoothペアリング





Bluetooth入力を選択すると、ディスプレイのBluetoothアイコンが2回点滅を繰り返し、ペアリング済みのデバイスを検索します。保存されているデバイスが見つからない場合、自動的にペアリングモードに入り、点滅します。

Bluetoothアイコンが点滅するまで、ボタンを長押し(1秒)してペアリングモードに入ります。ペアリングするには、携帯電話などのオーディオソース機器で「iFi Lossless Audio」を選択してください。

NEO iDSD 2は、ペアリングされたBluetoothデバイスを最大8台まで保存できます。以前に保存したデバイスをすべて削除するには、工場出荷時リセットを実行してください(項目2 - VII)。

6. ゲイン選択ボタン

短く押すと4つのゲインモードが切り替わります。

	>		>		>	
iEMatch		ノーマル		ターボ		ニトロ
-12dB		0dB		+8dB		+16dB

※常に0dBからスタートし、ヘッドホンから楽しく快適な音量レベルになるようにゲインレベルを上げます。

※最初に高いゲインを使用しないでください。聴覚や接続したヘッドホンに損傷を与える可能性があります。AMR/iFi audioは、誤った使用によるいかなる損害/傷害にも責任を負いません。

7. XBass II 選択ボタン

3つの低音域モードを切り替えます。

Off > **XBass** > **XBass** > **XBass**

オフ XBass PresenceXBass+Presence

XBass IIは、元の音楽をより正確に再現するために、失われた低音域のレスポンスを「足し戻す」ように設計されたアナログ回路です。

※ヘッドホンの周波数特性に関する研究により、純粋にフラットな特性は正しくない可能性があることがわかりました。私たちの長い歴史を持つXBassは、必要とされる低域補正のプロファイルに適合しています。しかし、多くのヘッドホンをより「自然な」音にするためには、ある程度の中域上部のブーストが必要であることも示されました。

この中域上部の領域は通常「プレゼンス」領域と呼ばれ、私たちは中域上部の補正を示すためにこの用語を使用しています。NEO iDSD2では、XBass II (またはHPEQの方が良いかもしれません) は、ベース+プレゼンス補正、ベースのみ、またはプレゼンスのみの補正のいずれかを選択できます。

※**XBass II**や**XSpace**マトリックスシステムには、音質を阻害するDSPは使用されていません。最高品質のディスクリートコンポーネントを使用し、純粋にアナログ領域で動作します。従って、オリジナル音楽の明瞭さと解像度はそのまま維持されます。

8. バランス4.4mmヘッドホン出力

バランス4.4mmヘッドホンを接続します。

9. シングルエンド6.3mm ヘッドホン出力

6.3mmシングルエンドのヘッドホンを接続します。3.5mmシングルエンドヘッドホンには、3.5→6.3mmアダプターをご使用ください。

10. バランスXLRアナログ出力

4.4mmとXLRまたは同様のバランスインターコネクトを接続します。

11. シングルエンドRCAアナログ出力

シングルエンドのアンバランス信号をアンプに出力します。

12. シングルエンド3.5mmアナログ入力

ステレオ3.5mmコネクタのアナログオーディオソースを接続します。

13. 外部クロック入力

外部クロックソース(10MHz)に接続します(オプション)。

※この機能を使用するには、メニューのExternal Sync ClockをOnに設定してください。

10MHzクロックが検出されない場合、または外部クロックにエラーがある場合、ディスプレイにエラーが表示され、NEO iDSD 2は自動的に内部クロックに切り替わります。

正弦波または矩形波信号を使用できます。公称1Vpp75Ω。

14. 同軸デジタル入力

Apple TV、Google Chromecast、PS5、ハイエンドCDトランスポートなどのS/PDIFソースを接続します。

15. 光デジタル入力

Apple TV、Google Chromecast、PS5、Xbox、ハイエンドCDトランスポートなどのS/PDIFソースを接続します。

16. USBオーディオ入力

USB3.0 Type-B (USB2.0互換) です。PCとのより優れた接続には、付属のUSB3.0ケーブルをご使用ください。NEO iDSD 2とPCのオーディオソースを接続します。

17. DC電源接続端子

DC9V/1.5A～15V/0.9A*の電源を入力します。NEO iDSD 2を付属の電源に接続してください。

※電源ユニットは最低定格繰り返し電流を供給できる必要があります。

※PCのUSB 2.0ポートを使用するよりもUSB 3.0を使用する方が望ましいです。

※PCで使用する場合は、ドライバーをダウンロードする必要があります。

※必要なドライバーと最新のファームウェアアップデートについては、公式サイトをご確認ください。

MQA

NEO iDSD 2にはMQAテクノロジーが搭載されており、MQAオーディオファイルやストリームを再生し、オリジナルマスターレコーディングのサウンドを再現することができます。



「MQA」または「MQA.」は、製品がMQAストリームまたはファイルをデコードして再生していることを示し、音源と同一のサウンドであることを保証するための出所を示します。「MQA.」は、アーティスト／プロデューサーがスタジオで承認したか、著作権所有者が検証したMQAスタジオファイルを再生していることを示します。「OFS」は、製品がMQAストリームまたはファイルを受信していることを確認してMQAファイルを最終展開し、元のサンプルレートを表示します。

MQAおよびSound Wave DeviceはMQA Limited ©2016の登録商標です。

MQA

- 1) 開封してからすぐにMQA (Master Quality Authenticated) ファイルを聴くことができます。
- 2) MQAの楽曲については、Tidalに接続し、MQAストリーミングのオプションをチェックするだけです。
- 3) 詳しくはmqa.co.ukをご覧ください。

iFi Nexisアプリを使ってNEO iDSD 2をセットアップ



iFi Nexisアプリ内で「NEO iDSD 2」と検索してください。

iFi Nexisアプリは、OTAアップグレード*、リモートコントロール**など、NEO iDSD 2のすべての機能と設定を使用するのに役立ちます。

*OTA (Over the Air download technology) は、ファームウェアのアップグレードパッケージをダウンロードし、ネットワーク経由で自動的にアップグレードを行います。

**NEO iDSD 2のすべての機能と設定をより簡単に、便利に、自由に調整するために、従来のリモコンに代わる便利で使いやすいデバイスのコントロール方法をユーザーに提供します。

QRコードをスキャンすると、YouTubeでiFi audio NEO iDSD 2の公式ビデオをご覧ください。



注意事項

1. 極端な高温、低温、湿気を避けてください。
2. NEO iDSD 2を落としたり、押しつぶしたりしないでください。
3. 不快感や痛みがある場合は、音量を下げるか、一時的に使用を中止してください。
4. 多くの音楽プレーヤーソフトウェアやオペレーティングシステムは、音量制御に関する工業規格（ヒューマンインターフェースデバイスのUSBデバイスクラス定義など）を適切に適用していないため、オーディオを再生する前に必ずイヤホン、ヘッドホン、またはスピーカーの実際の出力音量を確認してください。疑わしい場合は、音楽を再生する前に、CyberSyncまたはiFi製品のその他の音量同期機能をオンにし、音量を最小設定にしてください。

長時間の熱暴露

iFi 製品は、通常の使用中に非常に熱を持つことがあります。使用中または充電中は、iFi製品を安定して風通しのよい作業台の上に置いておくことが重要です。

※聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間使用しないでください。

■仕様

デジタルステージ

ハイレゾ対応 : DSD 512/22.6MHz
PCM 768kHz
フルMQAデコーダー

Bluetoothフォーマット : aptX Lossless、aptX Adaptive、aptX*、LDAC™、LHDC/HWA、AAC、SBC
ラインステージ

ライン出力 - XLR : 最大19.5V(可変); 4.4V(固定)

ライン出力 - RCA : 最大10.5V(可変); 2.2V(固定)

出力インピーダンス

XLR : $\leq 100\Omega$

RCA : $\leq 50\Omega$

SNR : $\geq 120\text{dB(A)}$ @0dBFS

DNR : $\geq 120\text{dB(A)}$ @-60dBFS

THD+N : $< 0.0015\%$ @0dBFS

ヘッドホン出力

出力レベル 4.4mm	: 3.5V/19.5V 最大 (120 - 600Ω)
出力レベル 6.3mm	: 最大4.5V/9.5V (120 - 300Ω)
最大出力 4.4mm	: >19.5V/650mW (@600Ω); >13.3V/5551mW (@32Ω)
最大出力 6.3mm	: >10.5V/184mW (@600Ω); >9.5V/2832mW (@32Ω)
RMS出力 4.4mm	: >12.7V/2532mW (@64Ω)
RMS出力 6.3mm	: >8.4V/2244mW (@32Ω)
出力インピーダンス	: $\leq 1\Omega$ (iEMatch $\leq 7\Omega$ を有効にする)
SNR	: $\geq 120\text{dB(A)}$ (3.3V 6.3mm/6.2V 4.4mm)
DNR	: $\geq 120\text{dB(A)}$
THD+N	: <0.0015% (125mW @32Ω)

一般

電源	: DC9V/1.5A - 15V/0.9A(centre +ve)
消費電力	: 無信号 ~5W/最大信号 ~13.5W
外形寸法	: 214×158×41mm
重量	: 916g
保証期間	: 12ヶ月

*電源ユニットは最低定格繰り返し電流を供給できなければなりません。

**標準的な12ヶ月間、または現地の再販業者法によって許可/要求された期間。

***仕様は予告なく変更される場合があります。

詳細はifi-audio.comのFAQをご参照ください。

**LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の商標です。

**Qualcomm aptXおよびSnapdragon SoundはQualcomm Technologies, Inc.
および/またはその子会社の製品です。

aptXはQualcomm Technologies International, Ltd.の商標です。

ifi